



2027年3月期 第1四半期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2027 FIRST QUARTER FINANCIAL RESULTS



MAZDA ROADSTER
特別仕様車 PS

2026年8月4日
マツダ株式会社

本日の説明内容

- **2027年3月期 第1四半期 実績**
- **2027年3月期 通期見通し**
- **新型MAZDA CX-5 導入の進捗**
- **まとめ**

注：本資料において当期純利益・損失は、親会社株主に帰属する当期純利益・損失を示す

2027年3月期 第1四半期 実績

第1四半期実績 総括

- グローバル販売台数 30万4千台、対前年1%増
- 連結出荷台数 28万台、対前年5%増
- 売上高 1兆2,857億円、対前年17%増
第1四半期として過去最高
- 営業利益 328億円、売上高営業利益率 2.6%
- 当期純利益 296億円

✓ 関税影響が継続する中でも営業利益は対前年789億円的大幅改善

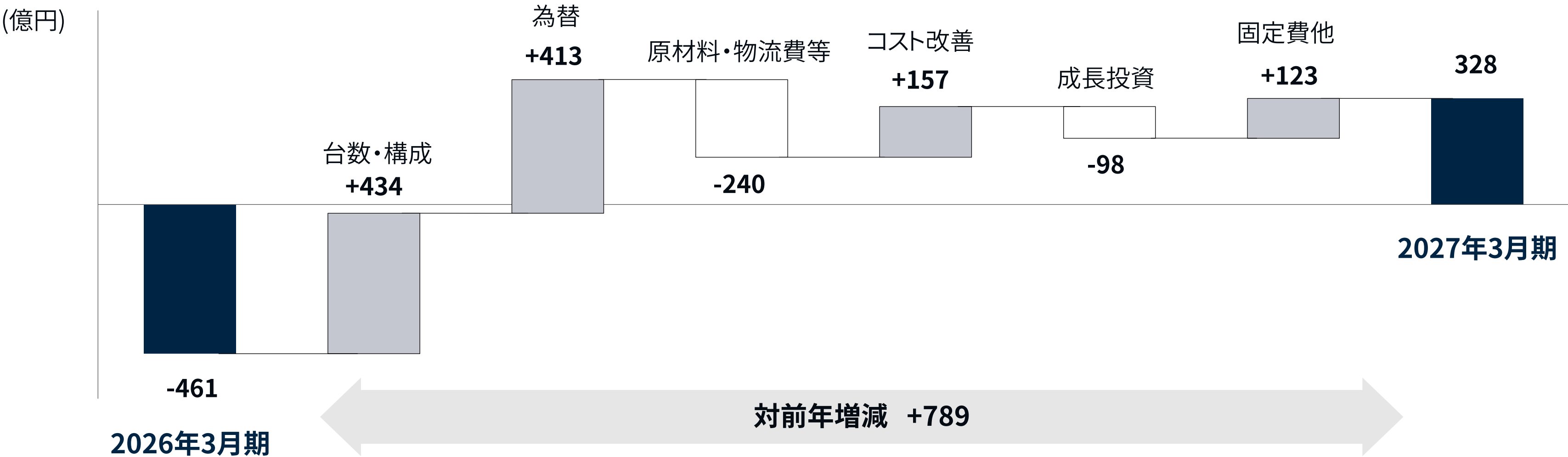
2027年3月期 第1四半期 台数実績

(千台)	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
生産台数※	300	276	296	+20	+7%
グローバル販売台数					
日本	29	32	33	+1	+3%
北米	146	147	154	+7	+5%
欧州	49	39	43	+5	+12%
中国	18	18	18	0	+1%
その他市場	67	65	56	-9	-14%
合計	309	301	304	+4	+1%
米国	102	100	107	+7	+7%
オーストラリア	25	24	19	-5	-22%

2027年3月期 第1四半期 財務指標

(億円)	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
連結出荷台数 (千台)	291	266	280	+14	+5%
売上高	12,056	10,998	12,857	+1,859	+17%
営業利益	504	-461	328	+789	-
経常利益	803	-343	428	+771	-
当期純利益	498	-421	296	+717	-
売上高営業利益率	4.2 %	-4.2 %	2.6 %	+6.8 pts	
EPS (円)	79.1	-66.8	47.0	+113.8	
為替レート (円)					
USDドル	156	145	160	+15	
ユーロ	168	164	185	+22	
タイバーツ	4.25	4.37	4.90	+0.54	
メキシコペソ	9.06	7.42	9.18	+1.76	

2027年3月期 第1四半期 営業利益変動要因(対前年比較)



台数・構成	+434	為替	+413	原材料費・物流費等	-240	コスト改善	+157	成長投資	-98	固定費他	+123
台数構成・価格	+364	USD	+98	原材料費	-249	ベースCI	+38	ITセキュリティ	-4	研究開発費	+45
販売奨励金	-209	EUR	+66	物流費	+9	構造的原価低減	+119	広告宣伝費	-94	減価償却費	-18
関税影響	+203	AUD	+86							品質関連費用	-25
その他	+76	THB	-32							その他	+121
		MXN	+60								
		その他	+135								

2027年3月期 キャッシュ・フローおよびネット・キャッシュ

(億円)	2026年3月期		2027年3月期
	第1四半期	通期	第1四半期
営業キャッシュ・フロー	-1,411	2	-406
投資キャッシュ・フロー	443	-9	-286
フリー・キャッシュ・フロー	-968	-6	-692

(億円)	2025年6月末	2026年3月末	2026年6月末
現金及び現金同等物	9,893	12,932	12,148
有利子負債	6,996	8,501	8,429
ネット・キャッシュ	2,897	4,430	3,719
総資産	39,223	44,795	44,343
自己資本	17,205	19,056	19,179
自己資本比率	44 %	43 %	43 %

2027年3月期 通期見通し

通期見通し 総括

- 2027年3月期通期見通しは変更なし
通期営業利益見通し1,500億円に向けて順調に進捗
- 新型MAZDA CX-5およびMAZDA6e、MAZDA CX-6eを
成長ドライバーとして、第2四半期以降の販売拡大を図る
- 台数成長、コスト改善により、通期計画の達成を目指す



2027年3月期 通期 台数見通し

■ 通期台数見通しは変更なし

(千台)	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減		対5月公表増減
	通期	通期	通期		通期
グローバル販売台数					
日本	144	153	+9	+6%	-
北米	582	629	+47	+8%	-
欧州	164	197	+34	+21%	-
中国	71	71	0	0%	-
その他市場	262	274	+13	+5%	-
合計	1,223	1,324	+102	+8%	-
米国	395	435	+41	+10%	-
オーストラリア	89	100	+11	+13%	-

2027年3月期 通期 財務指標

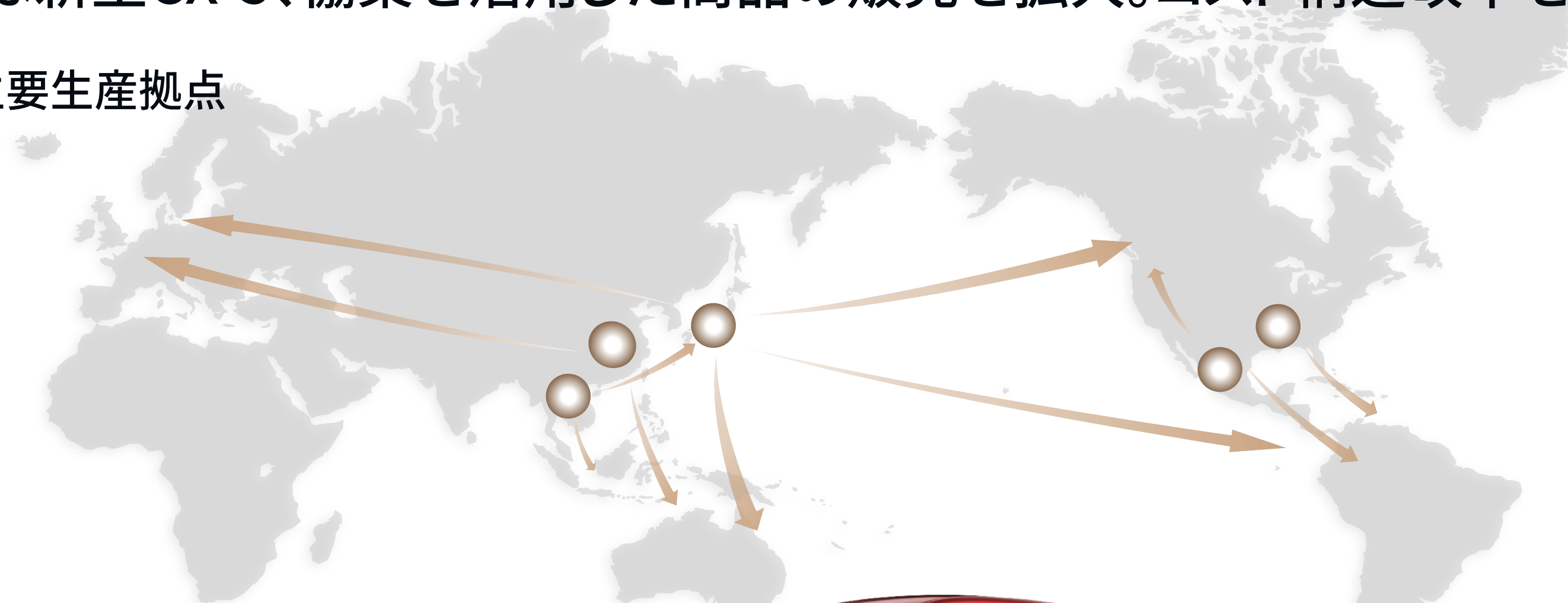
■ 通期業績見通しは変更なし

(億円)	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減		対5月公表増減
	通期	通期	通期		通期
連結出荷台数 (千台)	1,147	1,233	+86	+8%	-
売上高	49,182	55,000	+5,818	+12%	-
営業利益	516	1,500	+984	+191%	-
経常利益	1,318	1,400	+82	+6%	-
当期純利益	351	900	+549	+157%	-
売上高営業利益率	1.0 %	2.7 %	+1.7 pts		- pts
EPS (円)	55.6	142.7	+87.1		-
為替レート (円)					
USドル	151	155	+4		-
ユーロ	175	180	+5		-
タイバーツ	4.67	4.80	+0.13		-
メキシコペソ	8.16	8.89	+0.73		-

マルチソリューション、ライトアセット、協業、ブランド価値経営による成長戦略

- マツダの重要な経営アセットを最大活用（販売ネットワーク・フットプリント・協業）
- 今期は新型CX-5、協業を活用した商品の販売を拡大。コスト構造改革を進捗

● 主要生産拠点



新型MAZDA CX-5

協業電動車



協業ハイブリッド車



次期CX-3



新型MAZDA CX-5 導入の進捗

新型MAZDA CX-5 導入の進捗

- 欧州、北米、日本の主要市場で販売開始。導入は概ね計画通りに進捗
 - 6月末受注は欧州2万台超、日本1万台超と計画を上回るペースで推移
- 進化したデザイン・居住性・乗り心地に加え、安全性能も高く評価されるなど商品力への反応は良好
- 豪州、他の地域でも7月より順次販売を開始。米国を含む主要市場で販売が加速、通期の台数成長に貢献



新型MAZDA CX-5 主要市場で最高評価を獲得した安全性能

- 新型CX-5は米国IIHS*¹ *TOP SAFETY PICK+*、欧州Euro NCAP*² および豪州・ニュージーランドのANCAP*³ で最高評価を獲得

*1 IIHS: Insurance Institute for Highway Safety

*2 Euro NCAP: European New Car Assessment Programme

*3 ANCAP: Australasian New Car Assessment Program

- 米国IIHS の安全性能評価
 - *TOP SAFETY PICK* および *TOP SAFETY PICK+* の累積獲得回数はブランドとして100回目を達成
 - 2026IIHS最高評価 *TOP SAFETY PICK+* 獲得モデル数は3年連続で全銘柄中最多を維持



新型MAZDA CX-5

✓ お客様に安全・安心を届け続ける、ブランド価値を体現

まとめ

まとめ

- 売上高は第1四半期として過去最高
営業利益、当期純利益とも前年同期から大幅改善
- 新型MAZDA CX-5は主要市場で導入が進展
MAZDA6eの出荷本格化およびMAZDA CX-6e投入準備も進捗
- 通期見通しは変更なし
- マルチソリューション戦略・ライトアセット戦略の下、
HEV展開、協業活用および独自BEV開発を通じて電動化対応を推進
ブランド価値経営と合わせ、より強固な事業基盤を構築

MAZDA

添付

第1四半期実績および重点取り組み—日本市場

- 第1四半期実績は3万3千台(対前年3%増)
新型CX-5(対前年91%増)を軸に集客が増え、CX-5との比較検討が増加したCX-30(対前年12%増)や、生産終了前の需要増によるMAZDA2(対前年19%増)が好調
- 国内ビジネス構造変革は計画通り進捗
【重点施策】①都市圏重点エリアでの販売網再編 ②新他獲得のためのマーケティング変革
③ブランド浸透によるリテールオペレーション変革
④変革を支える組織・人事・風土変革
- マーケティング強化により、新規来店(対前年4%増)、「マツダ」検索数(対前年13%増)、SNS再生回数(対前年15%増)が増加
- 理想のお客さま体験の基準「マツダブランドスタンダード」、その実践を支援する教育制度「マツダブランドアカデミー」を新型CX-5導入とともに全国展開
- 組織風土変革の取り組み「BLUEPRINT」を全国展開



第1四半期実績および重点取り組みー北米市場

米国

- 第1四半期実績は10万7千台(対前年7%増)
好調なハイブリッド需要を受けたCX-50やセグメントが好調なMAZDA3が牽引
- 新型CX-5は導入強化を継続し、ディーラーの研修強化でモメンタムを構築
- 米有力紙による、ブランド力や販売店体験を含めた読者投票で5部門*を受賞
バランスの取れたラインナップで台数拡大を目指す

*米Newsweek Readers' Choice Awards 2026において、Best Car Brand、Best SUV Brand等5部門を受賞

メキシコ

- 第1四半期実績は2万7千台(対前年16%増)
新型CX-5、CX-30、CX-3等が台数増に寄与
- 強いブランド力と販促策で提供価値を高め、今期の更なる上乗せを目指す

カナダ

- 第1四半期実績は1万9千台(対前年17%減)
燃料高騰と政府のEV補助金再導入で電動車需要が拡大
- ラージ商品の機能訴求、新型CX-5の導入を推進し第2四半期以後拡販につなげる

第1四半期実績および重点取り組み—欧州/豪州市場

欧州

- 第1四半期実績は4万3千台(対前年12%増)
新型CX-5と、長安汽車との協業によるバッテリーEV第1弾、MAZDA6eの追加で
ラインアップが充実し、台数増に大きく貢献
- ライトアセット戦略のもと、協業バッテリーEV第2弾のクロスオーバーSUV、CX-6eは今夏導入予定
燃料価格高騰の中、需要と環境規制対応を両立するモデルとして重要な役割を担う

豪州

- 第1四半期実績は1万9千台(対前年22%減)
燃料高騰で廉価バッテリーEVやHEV需要が強い
環境ながら、CX-60は対前年13%増
- 新型CX-5、MAZDA6eが7月に本格販売開始
CX-6eは今秋販売。需要にも環境規制にも
応えるモデルで拡販につなげる



第1四半期実績および重点取り組みー中国/その他市場

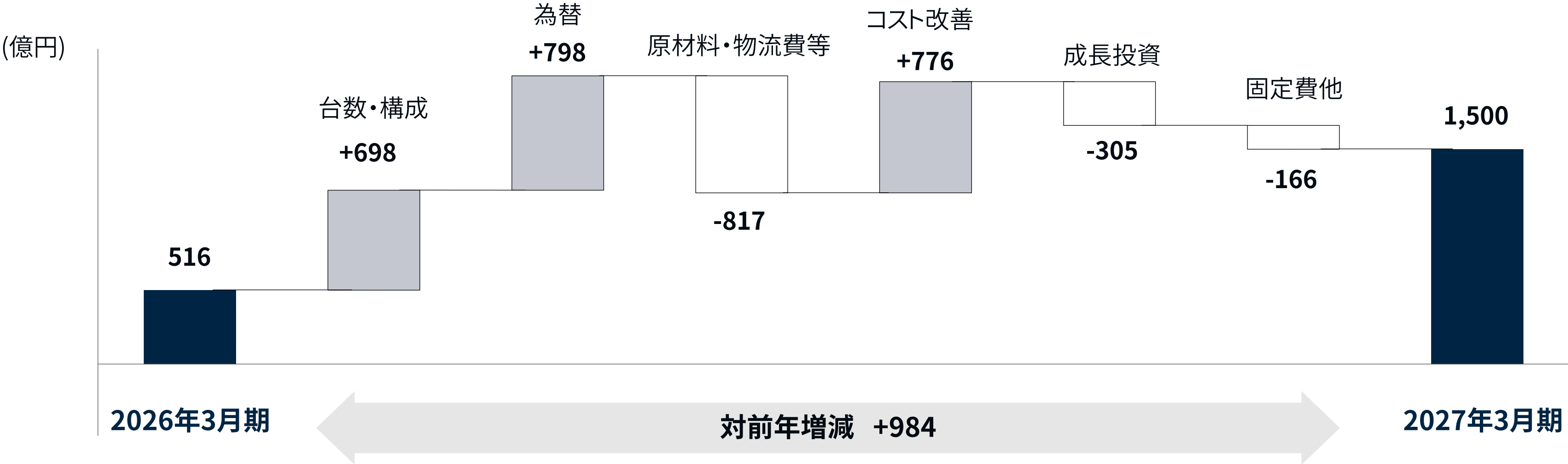
中国

- 第1四半期実績は1万8千台(対前年1%増)
昨年導入した、長安汽車との協業による電動車第2弾のEZ-60や、CX-5が牽引し、前年比増を実現
- 継続的な商品改良と顧客との繋がり強化で販売モメンタムを構築

ASEAN

- 第1四半期実績は1万3千台(対前年6%減)
- MAZDA6eをタイに導入。今期中にシンガポールとインドネシアにも導入予定
- インドネシアでCX-30の現地組立を7月に開始。新型CX-5・MAZDA6eも導入しラインナップを拡大し、ディーラー網の拡充とリニューアル、スタッフ教育も強化
- 次期CX-3の戦略的生産拠点として、AAT（タイ）の役割を強化し、2027年から順次ASEAN、日本等へ導入予定

2027年3月期 通期 営業利益変動要因(対前年比較)

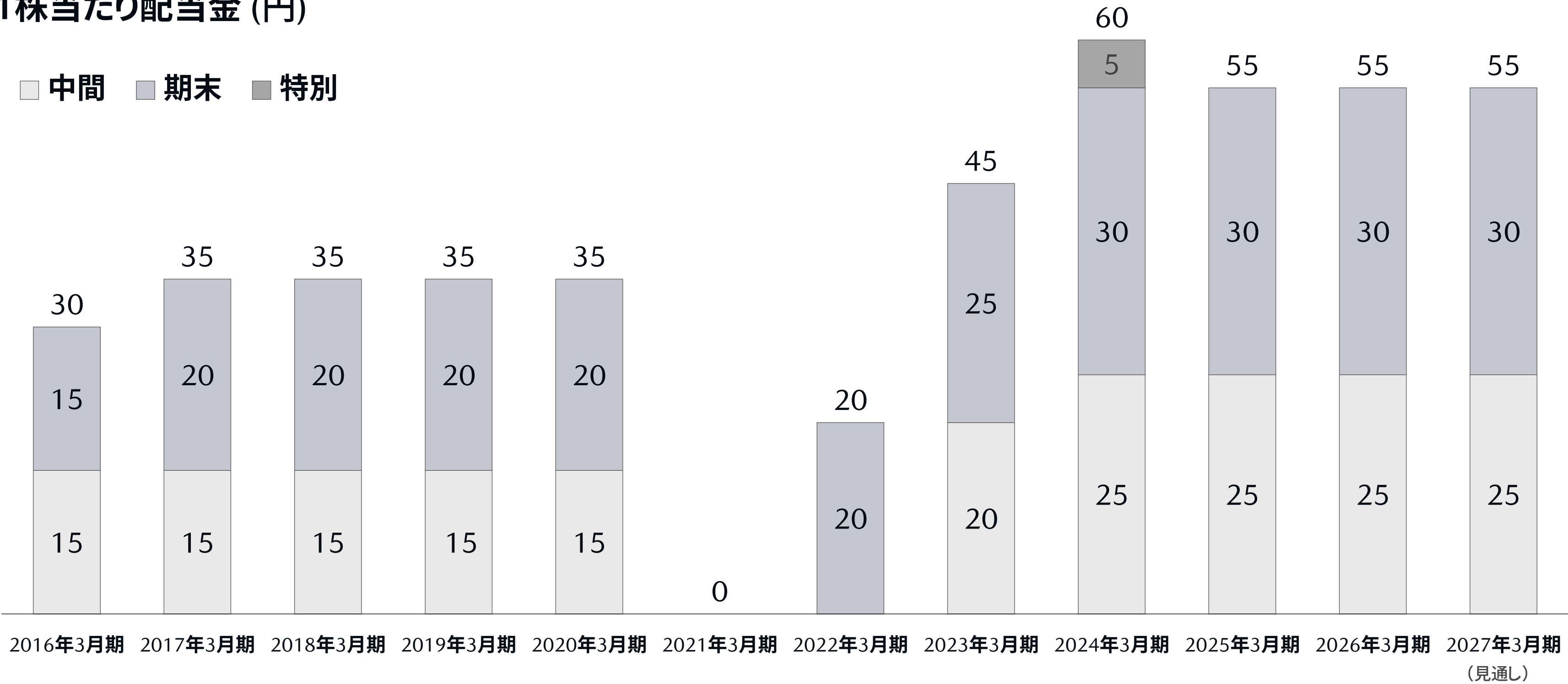


台数・構成		為替		原材料費・物流費等		コスト改善		成長投資		固定費他	
台数構成・価格	+624	USD	+101	原材料費	-740	ベースCI	+295	ITセキュリティ	-74	研究開発費	0
販売奨励金	0	EUR	+82	物流費	-77	構造的原価低減	+481	広告宣伝費	-231	減価償却費	0
関税影響	+137	AUD	+274							品質関連費用	-269
その他	-63	THB	-32							その他	+103
		MXN	+133								
		その他	+240								

配当について

1株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別



2027年3月期 第1四半期 連結出荷台数 実績

(千台)	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
連結出荷台数				
日本	35	33	-2	-6%
北米	142	159	+17	+12%
欧州	30	32	+2	+5%
その他市場	58	56	-2	-3%
合計	266	280	+14	+5%
米国	97	108	+12	+12%

2027年3月期 通期 連結出荷台数 見通し

(千台)	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減		対5月公表増減
	通期	通期	通期		通期
連結出荷台数					
日本	142	148	+5	+4%	-
北米	581	632	+51	+9%	-
欧州	169	184	+15	+9%	-
その他市場	254	270	+16	+6%	-
合計	1,147	1,233	+86	+8%	-
米国	391	440	+49	+12%	-

為替レート(期中平均)

(円)	2026年3月期	2027年3月期	対前年増減	対5月公表増減
	通期	通期	通期	通期
USDドル	151	155	+4	-
ユーロ	175	180	+5	-
カナダドル	109	114	+5	-
オーストラリアドル	100	112	+12	-
英ポンド	202	208	+6	-
タイバーツ	4.67	4.80	+0.13	-
メキシコペソ	8.16	8.89	+0.73	-

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。